

JA三重厚生連は、医療・保健・福祉活動を通じて、組合員と地域住民の皆さまが、安心して健やかに暮らせる地域づくりに貢献していきます。

厚生連だより

Letter of JA Mie Koseiren

Vol. 98

2025.11

特集掲載の大台厚生病院



もくじ

特集 本会における医療DX・情報化推進の取り組み	2
病院だより	
re:body 外来の開設	4
療養環境改善システム SREEP パネルを導入	4
ロボット支援腹腔鏡下大腸がん手術を開始しました	5
オープンホスピタルを開催しました	6
画像読取装置（FPD）を導入しました	6
インターンシップ・病院見学を開催しました。	7
information	
看護師特定行為研修修了式	7
健康活動推進 人間ドック	8
がん化学療法看護認定看護師紹介 リンパ浮腫ケア外来を開設しました	9
地域認定理学療法士紹介 地域認定理学療法士を取得しました	9
特別食紹介 当院の治療食を紹介します ～ 透析食 ～	10

CHECK!



JA三重厚生連
を紹介!

特集

本会における医療DX・情報化推進の取組み

国は、令和4年5月に「医療DX令和ビジョン2030」を提言し、医療・保健・介護分野において、医療DX（デジタル技術等）を通じて、サービスの効率化や質の向上により、①国民の更なる健康増進、②切れ目なくより質の高い医療等の効率的な提供、③医療機関等の業務効率化、④システム人材等の有効活用、⑤医療情報の二次利用の環境整備の実現を目指しています。具体例には、①オンライン資格確認、②電子カルテ導入、③オンライン診療、④AI診断支援、⑤ビッグデータ解析等があります。

本会では医療DX・情報化推進は重要な戦略課題のひとつとなっており、現状の取組内容について紹介します。鈴鹿中央総合病院では令和6年9月に県内で初めてのクラウド型電子カルテシステムを導入し、患者情報及び電子カルテシステムをデータセンターで管理することで、サイバーセキュリティ対策、自然災害に対するBCP対策を強化しました。またモバイル端末を導入し、いつでもどこでも必要な情報を閲覧できることで、医療の質の向上、医師・看護師業務の効率化による負担軽減に取り組んでいます。

南島メディカルセンターでは、令和6年2月に町立南伊勢病院と診療データの相互参照が可能な電子カルテシステムを導入し、プライマリケアの質の向上に取り組んでいます。また医師が少なく、遠方にある医療機関へ受診が難しい地域であることからオンライン診療も取り組んでいます。

6病院が提供する訪問看護ステーションではクラウド型電子カルテシステムを導入し、生成AIによる訪問看護計画書等を自動作成するなど作業の効率化に取り組んでいます。

この他、体温や血圧などのバイタル情報が自動で電子カルテへ転送される測定機器の導入や、病床全体の利用状況や入院患者の状況を可視化し、ベッドコントロールの最適化支援ツールの導入など医療DXを進めています。

今後、質の高い医療サービスの提供および業務改善による職員の負担軽減を図るため、医療版生成AIの導入や、電子処方箋発行などICT等を活用し、医療DXに取り組んでまいります。

今回、令和7年6月に稼働した大台厚生病院の新電子カルテシステムを紹介いたします。



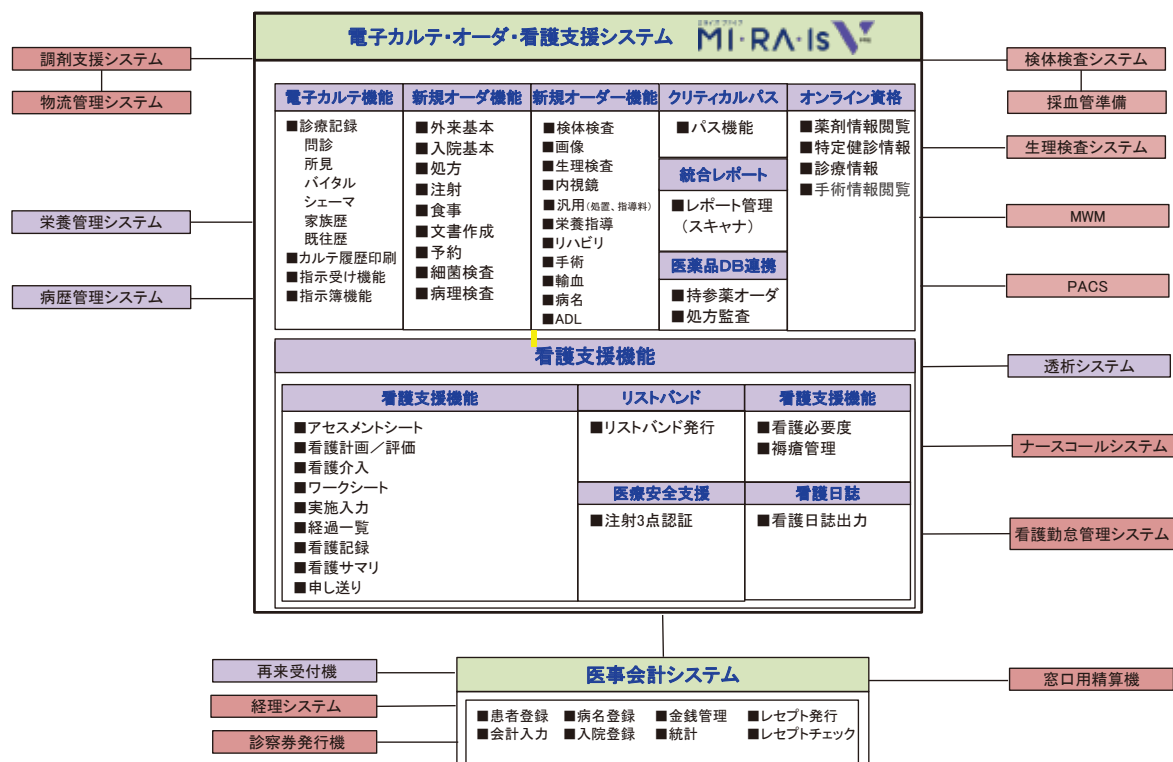
大台厚生病院 医事課長 林 正也

本院は平成 27 年 4 月新築移転の際に新規導入した電子カルテシステムが、老朽化によるレスポンスの低下がみられるようになり更新しました。

患者サービスの向上、職員の負担軽減、医療安全の確保、医療DXの推進をコンセプトとし、新病院情報システム更新委員会を立ち上げて協議を重ね、プレゼンテーションの評価等からシーエスアイ社製の電子カルテシステム(MI・RA・Is V)に決定しました。新電子カルテシステムは、電子カルテ情報共有システムへの対応、電子処方箋の実装、オンライン資格確認の利便性が良くなるなど、国が推し進める医療DXに対応できるシステムとなっています。機能面での大きな変更点はありませんが、医師と看護師、コメディカルの入力業務の整理・セット化の実施、医師・看護師記録の表示改善、付箋機能の運用等で業務の効率化を図ることにより、待ち時間の解消や職員の負担軽減、医療安全の確保といった効果が期待できます。

令和 6 年 11 月より導入作業を開始し、運用面の検討、操作研修、総合リハーサルを経て、令和 7 年 6 月から新電子カルテシステムによる運用を開始しました。

今後、当院は高齢化率の高い地域に立地していますので、医療・保健・介護情報へのスムーズなアクセスが重要になってきます。マイナ保険証の利活用推進、新電子カルテシステムを駆使し、患者さんへ最適な医療の提供を行うことにより地域の健康を守っていきます。



▲ 電子カルテ操作研修

re:body 外来の開設

病院だより

鈴鹿中央総合病院 院長補佐

太田 覚史

～体と心を、もう一度ととのえる。医学の力で“リボディ”～

「健康診断で“メタボ”と言われた」「最近、体重が気になるけれど、どこに相談すればいいのかわからない」そんな声に応えるため、当院では新たに令和7年7月から「re:body 外来」を開設しました。「re:body 外来」は、体重や体型、生活習慣に関する悩みを医学的に正しく、そして保険診療でサポートする外来です。健康の土台となる「からだ」と「こころ」を整え、長期的な健康維持を目指します。

当院は複数の専門診療科が連携する総合病院であり、その特性を活かし、関連する診療科で連携し合併症の評価をすることができます。その評価を基に医学的適応があれば、GLP-1 受容体作動薬、GIP/GLP-1 受容体作動薬といった、食欲を自然に抑え体重コントロールができる最新の治療薬を使用することができます。

過体重に関連する疾患でお悩みの方、我々はあなたの「変わりたい」を医療が支えます。見た目の変化だけでなく、医師・看護師・管理栄養士・臨床検査技師などチーム医療でサポートし、生活指導・栄養指導などを個別に組み合わせを行い、生活の質の向上の一助となるべく診療を行います。生活習慣病の予防・改善という健康づくりのため、ぜひ一度、あなたの体と向き合ってみませんか？

お問い合わせ

鈴鹿中央総合病院 地域医療連携室 TEL：059-384-1057（直通）
どうぞお気軽にご相談ください。

療養環境改善システム SREEP パネルを導入
～4床室に半個室空間を確保～

病院だより

三重北医療センター菰野厚生病院 看護部長

村瀬 美有紀

2025年3月、S2階（地域包括）病棟とS4階（急性期）病棟それぞれ2室にSREEPパネル（SREEP:Sleep Relax Excellent Environment Panel）を設置しました。これまで多床室の利用に関しては、プライバシーの確保や廊下側のベッドの日照問題など課題がありました。今回、パネルの設置により半個室のプライベート空間を確保、照度の問題も改善し、当院の4床室が特別な療養環境として提供できるようになりました。

パネルは、上部がガラスになっており、ガラス部分には、LED照明がついています。廊下側ベッドの天井を照らすため、薄暗くなりがちな廊下側エリア全体の照度を確保することができます。またサーカディアン照明といって、色温度を調節する機能がついています。朝は爽やかなクール系で点灯し、夕方には暖かなウォーム系の照明に変え、廊下側ベッドの患者さんにも、一日の“時間”を感じてもらえるように自然の色に合わせ切り替え、4床室どの場所でも“日の出”と“日没”を感じてもらえます。

患者さんの中には、認知症や認知機能の低下によりせん妄を発症しやすい状態の方も入院されています。4床室に入院していただく際、本来なら窓側で日光を浴びていただいた方がせん妄予防に良いのですが、空きベッドの都合上、光が感じにくい廊下側になってしまうこともありました。しかしパネルのLED照明や調節機能により、この部分は解決するのではないかと期待しています。

特に、設置して良かったと感じたのが「朝までゆっくり眠れたわ」という患者さんの声です。またこのパネル1枚で「隣の気配を感じなくなった」と言われます。



▲ 薄暗くなりがちな廊下側



▲ SREEPパネルで廊下側の照度を確保

ロボット支援腹腔鏡下大腸がん手術を開始しました

病院だより

三重北医療センターいなべ総合病院 副院長 柴田 直史

大腸がん手術には、おなかを大きく切開して行う開腹手術と腹腔鏡を用いて行う腹腔鏡下手術があります。腹腔鏡下手術は、おなかに空気（二酸化炭素）を注入して作業空間を作り、一方で腹腔内の様子をカメラでモニターに映し出し、その映像を見ながら手術を行うものです。

当初の腹腔鏡下手術は術者が直接手術器具を操作して行っていましたが、ロボットを使用することで、より精度の高い手術を目指すものが、ロボット支援腹腔鏡下手術です。学会の指針などではロボット支援内視鏡手術と表記されております。



ロボット支援手術といっても、基本的には術者である外科医が手術を行うものであり、ロボットが意思をもって自律的に手術を行うものではありません。その利点は、いくつか挙げられますが、私が特に重要と考えているものとして、以下3点と考えています。

① 手振れ防止機能

どんな名医でも少なからず手振れがあります。ロボットを使用すれば手振れをかなりの精度で防止あるいは低減することが出来ます。

② 画像による立体視

人力のみで行う腹腔鏡手術は原則的には2D画像で行うこととなります。ロボット支援内視鏡手術では、原則3Dによる立体視と拡大視により視覚情報の充実を図ることが出来ます。開腹手術は3D、従来の腹腔鏡手術は2D、ロボット支援腹腔鏡下手術は3Dとなりますので、感覚的にはより開腹手術に近い物となり、手術器具と臓器の位置関係や奥行き等をリアルに再現あるいは認識することが出来ます。

③ 手術器具が多関節

この事が最も重要であると考えています。開腹手術は例えば立体視（3D）を行い、触覚を伴い、可動域の高い手と腕を使用して手術を行うという利点がありますので腹腔鏡手術に比べて必ずしも、劣っている訳ではありません。

腹腔鏡手術の利点として一般的に言われている事は、創（切開長）が小さく、低侵襲であるとあります。その代償として、触覚が低下する事と、手術器具（鉗子というマジックハンドのような道具など）が原則的に器具の長軸方向に沿った一方向での操作に限定されるという制限が生じてしまいます。もちろん、工夫によってその制限を克服してきたというのが腹腔鏡手術の歴史でもあるのですが、最初からそのような制限が無い方がよい事は明白でしょう。ロボット支援手術では人間の手関節、指関節を関節数で上回り、可動域も人間のそれを凌駕すると言われています。一方で、短所もあります。例えば、触覚が無い。これは触覚に代わる視覚等の感覚を代用する事により、克服可能と考えます。

また手術操作中、誤作動が起きた場合はどうするか等心配な点もありますが、実際に誤作動による、大きな事故の報告は私の知る所では無いように思われます。また万が一の場合、緊急停止マニュアル等があり、即座に危機回避を行う事が可能です。



外科におけるロボット手術では、現在複数のメーカーから複数の機種が販売されています。当院では最も広く使用されているIntuitive社のDa Vinci Xiを使用しております。

より安全で精度の高い大腸がん手術を目指し、地域医療に貢献して参りますので、いつでもお気軽にご相談ください。

オープンホスピタルを開催しました

病院だより

松阪中央総合病院 副看護部長

大川 奈々恵



令和7年8月5日に高校3年生を対象にオープンホスピタルを開催しました。医師・看護師・薬剤師など医療機関で勤める9職種に49名の参加がありました。各々希望職種の仕事内容について各セッションで説明を受けた後、現場の仕事を実際に体験していただきました。

参加者は、手術支援ロボットの操作や薬剤部での調剤体験、診療現場や医療機器の見学など、貴重な機会を得ました。参加者から「さまざまな体験ができて楽しかった。医療に対する興味が深まった」「ドクターカーや実際の医療機器を体験できて良かった。今まで以上に医療の仕事に携わりたいという気持ちが高まりました」などの感想が寄せられました。このイベントを通じて、参加した高校生みなさんが医療従事者との交流を深め、日々の業務や専門知識について理解を深めることができたと思います。

松阪中央総合病院では、今後も医療の魅力を伝え、将来の進路を考える一助となる取り組みを続けてまいります。



画像読取装置（FPD）を導入しました

病院だより

南島メディカルセンター 総務兼医事係長

北前 進也

南島メディカルセンター放射線科において、画像読取装置（FPD）を導入し、「被ばく量の低減」、「高画質化」、「撮影時間が短縮」が可能となりました。

FPDは従来のレントゲン撮影装置と比べ、放射線量を40%～50%減らしつつ、より高解像の画質を得られます。ノイズの少ない鮮明な画像によって、細かな病変まで確認しやすく、より正確な診断に必要な画像が提供できるようになっています。

また、従来のレントゲン撮影装置では、撮影方向を変える度にカセットと呼ばれる重い板を入れ替える必要がありましたが、FPDでは人の手を使った無駄な動作を挟むことなく、迅速にレントゲン撮影をすることができます。さらに、画像をフィルムから直接読み取れるため、1人あたりにかかる撮影時間が全体で約25～30%も短縮されます。そのため、放射線科スタッフの作業的負担の軽減だけでなく、患者さんの待ち時間短縮にも貢献しています。

今回 FPD が導入されたことで、放射線被ばくの低減・撮影時間や待ち時間の短縮が実現されました。これからも皆様に安心して検査を受けて頂けるように努めてまいります。



▲ FPDコンソール写真



▲ FPD写真

インターンシップ・病院見学を開催しました。

病院だより

鈴鹿厚生病院 看護部長 永戸 孝治



令和7年8月13日、当院にてインターンシップ・病院見学を実施し、看護学生10名の皆さんに参加いただきました。翌年・翌々年に卒業を控えた学生さんで、精神科実習をすでに終えた方、これから実習に臨む方など、さまざまな立場の皆さんでした。就職先を検討中の方や

厚生連への内定が決まっている方もあり、精神科看護の魅力をお伝えする機会となりました。実習や病院見学を通じて多くの病院を知り、自分に合った職場を見つけ、次世代の看護を担っていただきたいと願っております。

また、既卒の看護師の方にもご参加いただき、精神科看護に関心を持っていただけたことを嬉しく思います。参加後に心温まるお礼のメールをいただくなど、有意義なひとときとなりました。

令和7年8月17日には、JA 三重ビル（津市）にて三重県厚生連7病院合同説明会が開催され、44名の参加がありました。会場は6つのブースに分かれ、各病院が特色ある説明を行いました。当日は三重テレビの取材も入り、ニュースで放送されました。放送の様子はYouTubeでもご覧いただけます。

看護師特定行為研修修了式

information

本部 管理部長 田中 聡

令和7年10月14日に看護師特定行為研修修了式を開催しました。

昨年9月に厚生労働省より、県内3施設目となる指定研修機関の指定を受け、11月より、1年間かけて呼吸器（人工呼吸療法に係るもの）関連、栄養に係るカテーテル管理（中心静脈カテーテル管理）関連、栄養に係るカテーテル管理（末梢留置型中心静脈注射用カテーテル管理）関連、動脈血液ガス分析関連、栄養及び水分管理に係る薬剤投与関連の5区分10行為において、講義、演習、実習を行ってきました。

指導者が見守る中、1期生となる修了生3名に新貝理事長から修了証および記念品が授与され、晴れやかな顔つきが印象的でした。

新貝理事長は、「無事修了されたこと、心からお祝い申し上げます。本会の研修で学んだことを活かして活躍されることを期待しています。」と挨拶し、受講生を代表して松阪中央総合病院 看護師 米川 純さんは、「これからは、特定行為研修修了者として、現場での安全で質の高い医療の提供に努めるとともに、後進の育成や看護の可能性の拡大にも貢献してまいります。」と謝辞を述べました。

本会では、これまで外部機関において14名の特定看護師を育成してきましたが、本会育成の3名が新たに加わり、本会の病院で特定看護師として活動します。

来年度は、現行の行為に加え、新たに術中麻酔管理領域パッケージの研修を開講する予定です。



健康活動推進 人間ドック

本会では、JA 共済連三重と協力して『健康活動推進 人間ドック（通称：健活ドック）』を実施しております。職場で人間ドックを受ける機会がない方（専業農家、自営業や退職後の方など）を対象として、ご案内させていただいております。市町の特定健診やがん検診に比べ、医師の診察もあり、治療が必要な場合もスムーズに受診できる点や、質の高い総合健診を安価で受けていただけることが、健活ドックのメリットです。料金は、閑散期キャンペーンとして通常価格より 18,000 円割引し、20,000 円で提供させていただいております。

今年で 4 年目となり、受検された方からご好評をいただいております。リピート者も多く、昨年度は 1,103 名の方にご利用いただきました。

JA共済連三重×JA三重厚生連による健康増進プロジェクト

令和8年1月～4月限定
健康活動推進 人間ドック

生活習慣病、がんなどの予防・早期発見が目的です

ドック料金 20,000 円（税込）
※上記料金は、JA共済連三重・JA三重厚生連からの助成金（助成額 18,000 円）の金額です

■ 対象者 ■ 実施期間

県下JAの組合員さま・同居のご家族さま
および三重県在住の皆さま
（職場の人間ドック等を受ける機会のある方は対象外となります）

令和8年1月～4月
※ 数に限りがございます
病院によっては、予約状況により受入を制限する場合がございます

健活ドックの3つの特徴

- 1 質の高い総合健診
経験豊富な専門スタッフと充実した医療機器による質の高い人間ドックを提供します。
- 2 充実の検査内容
腹部エコー、腫瘍マーカー等、がんの早期発見に有用な検査をはじめ、生活習慣病等様々な疾患に対応します。
- 3 安心のアフタフォロー
検査結果に応じ、治療が必要な場合は、専門の医師による診察を受けて頂きます。

県内4か所の厚生連病院で人間ドックを受けることができます
お申込み・お問い合わせ（平日13:00～16:30）

松阪中央総合病院 健康管理センター エボック TEL: (0598) 21-8248 (直通) FAX: (0598) 21-2821 (直通)	鈴鹿中央総合病院 健診センター オリーブ TEL: (059) 384-1017 (直通) FAX: (059) 384-1018 (直通)
菟野厚生病院 健康管理センター TEL: (059) 393-1212 (代表) FAX: (059) 393-5647 (直通)	いなべ総合病院 健康管理センター TEL: (0594) 72-8711 (直通) FAX: (0594) 72-8712 (直通)

JA共済連三重 / JA三重厚生連



現在、令和 8 年 1 月～ 4 月の予約を受付中です。ご予約、お問い合わせは、各病院の健康管理センターで承っております。

皆さまが、いつまでもいきいきと健康に暮らすことができるよう、ぜひ「健活ドック」をご活用ください。

お申込みお問い合わせはリーフレット下部をご覧ください。



※ただし、先着順のため予約状況によってはお受けできない場合がございます。ご了承ください

リンパ浮腫ケア外来を開設しました ～リンパ浮腫になった時一人で悩んでいませんか？～

がん化学療法看護認定看護師紹介

鈴鹿中央総合病院 がん化学療法看護認定看護師

宮崎 嘉英

私たちは、手術後・放射線治療後・終末期のリンパ浮腫で悩む患者さんからの声を聞き、令和7年6月より「リンパ浮腫ケア外来」を開設しました。患者さんの悩みは、「腕が腫れて肘が曲げられないから食事をするとき、お箸が口まで届かない」「手の甲が腫れて字が書けない」「足が腫れて散歩に行けず気持ちが暗くなる」「腕が腫れて、恥ずかしくて好きな服も着れなくなった」などでした。

リンパ浮腫は、手術・放射線などでリンパの流れが滞りリンパ液が徐々に皮下組織にたまることで起きる進行性の病気です。リンパ浮腫ガイドラインでは、初期（病期分類Ⅰ期）からのリンパ浮腫ケア介入が推奨されています。

リンパ浮腫ケアは、複合的理学療法を中心とする保存的治療で、①～④のように圧迫療法と運動療法（リハビリ）を組み合わせることで効果的だと言われています。

- ① 用手的リンパドレナージ（リンパ管の走行リンパ液の正しい流れに沿って細胞の隙間にたまったリンパ液を排出させ硬くなった皮膚をほぐす）
- ② スキンケア（皮膚を観察・清潔保持・保湿・リンパの流れを意識した入浴方法）
- ③ 圧迫療法（リンパドレナージ後の良い状態を保持するために行う弾性着衣やバンテージ）
- ④ 運動療法（筋ポンプ作用によりリンパの流れを促す）



また、禁忌疾患を除外して安全にケアができるように、形成外科医師の診察・指示のもと行われます。

適切なケアの介入により、普通の日常生活がとりもどせ、ポジティブな気持ちが生まれ闘病意欲につながった患者さんもあります。このようにリンパ浮腫の改善は身体だけでなく心も元気になると考えています。これからは私達は、患者さんの笑顔につながるようなリンパ浮腫ケアを行っていきたいと考えています。

（現在3名のセラピストが在籍しており、理学療法士が運動療法を行います。）

地域認定理学療法士を取得しました

地域認定理学療法士紹介

三重北医療センター菰野厚生病院 理学療法士

佐々木 悠祐



認定理学療法士とは、自らの専門性をさらに高める制度として日本理学療法士協会が専門的な知識と技術を要する21分野で認定する制度です。

私は2025年4月に「地域認定理学療法士」を取得しました。地域での生活支援や介護予防などに特化した専門的なスキルを持ち、地域の方が元気に暮らし続けられるようにサポートする理学療法士です。病院だけではなく地域（自宅・施設・公民館）などに出向き、介護予防講座・認知症予防講座・転倒予防教室を開催することもあります。高齢者や障がい者・障がい児およびその家族が住み慣れた地域において継続して安心した生活ができるよう、保健・医療の分野から実践的な活動を行います。

今後、地域認定理学療法士としての強みを活かして行政とも連携をし、地域リハビリテーション活動支援事業等に携わってまいります。

特別食紹介

当院の治療食を紹介します ～ 透析食 ～

鈴鹿中央総合病院 栄養科長 中谷 理恵

どの食種においてもバランスよく食事摂取することは必要ですが、良質な透析生活を送るためにも食事療法はとても重要です。透析食の基本は適正なエネルギーの確保、たんぱく質量の調整、塩分・カリウム・リン・水分制限が必要となります。減塩は腎臓病の食事療法の基本であり、水分の取り過ぎを防ぐためにも減塩が大切です。当院でも制限のある中でも美味しく摂取していただけるよう、工夫しながら調理をしております。当院の透析食（1800kcal/日）を紹介します。

栄養量 1食1人分

● エネルギー	690kcal
● たんぱく質	25.7g
● 脂質	28.0g
● カリウム	679mg
● リン	345mg
● 塩分	1.5g

●ごはん 170 g

●いわしの天ぷら

【材料（1人分）】

・いわし（開き）	40g × 2枚
・こしょう	0.1g
・小麦粉	10g
・卵	10g
・冷水	30cc
・油	12g
・ミニしょうゆ（添え）	3g

作り方

- ① いわしはキッチンペーパーで水気をふきとり、こしょうを振る。
- ② ボールに溶き卵を入れ冷水を加えてよく混ぜ、小麦粉を加えて菜箸でさっくりと混ぜ衣を作る。
- ③ 鍋に油を入れ170℃に熱し、②の衣にいわしをくぐらせ、衣がカラッとするまで途中裏返しながら揚げる。
- ④ 器に盛りつけ、ミニしょうゆを添える。

●もやし中華炒め

【材料（1人分）】

・もやし	90g
・ぶなしめじ	15g
・青ねぎ	10g
・こしょう	0.3g
・中華だし	1g
・ごま油	3g

作り方

- ① もやしはざるに入れ、さっと水にさらして水気を切る。しめじは根元を切り落とし小房に分ける。ねぎは3～4cmの長さに切る。
- ② フライパンにごま油を熱し、しめじを入れて中火で炒め、さらにもやし、ねぎを加えて1分程度炒める。
- ③ 中華だし、こしょうを加えてさっと炒め、味を調えてうつわに盛り付ける。

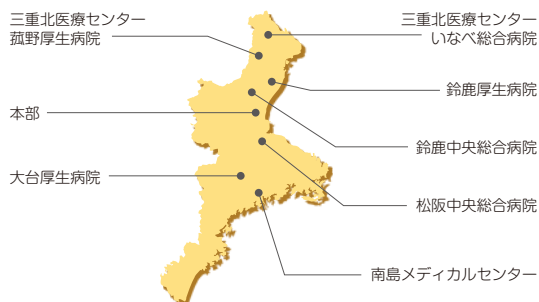
●南瓜の冷やしあんかけ

【材料（1人分）】

・南瓜	60g	A
・砂糖	1g	
・薄口しょうゆ	1.5g	
・かつおだし	0.25g	
・水	適量	B
・薄口しょうゆ	0.5g	
・おろししょうが	0.5g	
・砂糖	0.5g	
・片栗粉	1g	

作り方

- ① かぼちゃは種を取って一口大に切り、皮を下にして鍋に並べ入れ、頭が少し出るくらいのだし汁（かつおだし+水）水を加えて火にかける。
- ② 沸騰したら火を弱めて、Aの砂糖、薄口しょうゆを入れ、落し蓋をして15分ほど煮る。
- ③ 粗熱が取れたら、保存容器に移して冷蔵庫で冷やす。
- ④ Bの調味料を鍋に入れてひと煮たちさせあんを作り、粗熱をとって冷蔵庫で冷やす。
- ⑤ ③のかぼちゃを器に盛り付け、④のあんをかける。



厚生連だより Vol.98

発行／三重県津市栄町1丁目960番地

三重県厚生農業協同組合連合会

TEL 059-229-9191 FAX 059-224-4354

http://www.miekosei.or.jp/ E-mail:info@miekosei.or.jp



自然保護のため、石油系成分の少ない植物油性インキを使用しています。